

## 令和3(2021)年度第1回栃木県農村地域資源保全向上対策委員会の結果概要について

栃木県農政部

- 1 開催日時 令和3(2021)年6月23日(水) 14:10~15:45
- 2 開催場所 会議体及びオンラインによる開催
- 3 出席者 栃木県農村地域資源保全向上対策委員会委員5名  
県関係者5名

### 4 議 題

日本型直接支払交付金(多面的機能支払、中山間地域等直接支払及び環境保全型農業直接支払交付金)の令和2(2020)年度の実施状況及び令和3(2021)年度の取組方針について

### 5 結果概要

県内における日本型直接支払交付金(多面的機能支払、中山間地域等直接支払及び環境保全型農業直接支払交付金)の令和2(2020)年度の実施状況及び令和3(2021)年度の取組方針について事務局から説明し、各委員から意見等をいただいた。

#### <主な意見等の内容>

#### ア 多面的機能支払交付金

- ・とちぎ広域営農システムのモデル地区との連動については、良いモデルが出ることを期待している。多面的機能支払に取り組む人に対し、優良事例等を挙げながら、取組方針を示すなどしていけば、理念が伝わりやすくなるのではないかと。
- ・集落合意の上、担い手に農地を集積した時には、地域の実情を踏まえた上で課題等の論点を整理していくことが大切である。
- ・田んぼダムについては、効果等のデータが示されていない。効果検証は実施した方がよい。

#### イ 中山間地域等直接支払交付金

- ・高齢化等の課題に対しては、様々な主体や手法を使っていくのがポイントである。
- ・島根県に中山間地域を研究しているセンターがあるので、中山間地域等直接支払を含めて、取組を参考とすればよい。

#### ウ 環境保全型農業直接支払交付金

- ・生物多様性保全効果測定において、国が作ったマニュアルで数値化していくことは必要だと思いが、それだけで有機農業の効果のすべてがわかるものでもない。